

農業後継者育成基金事業

令和6年度農業青年組織等活動活性化事業(地域青年農業者組織活動活性化助成)

事業主体名 曾於地区農業青年クラブ連絡協議会

1 目的

曾於地域は農業が盛んな地域で、当青年クラブ員は様々な農畜産物を生産している。曾於地域の農業の概要や魅力を伝え、農畜産物の消費拡大を図るために、消費者に対する食育や農畜産物の紹介に関するパンフレットや農業青年クラブの活動をPRするはっぴやのぼり、横断幕を作成し、子ども食堂への食材提供や地域住民や消費者との交流イベントへの参加に取り組む。

2 実施状況

(1)はっぴ、のぼり、横断幕の作成

クラブ員が「消費者交流会などで、消費者に対して視覚的に訴え、他出店者と差別化を図るために、はっぴやのぼりが必要である」と考え、曾於地区オリジナルのはっぴ、のぼり、横断幕を製作した。

(2)農産物販売会への参加

曾於地域の農業のPRと魅力発信を目的に、生産者マルシェに参加し、曾於地区の農産物14品目を消費者へ直接販売した。

製作したはっぴやのぼり、横断幕を活用することで、クラブ員の意欲向上や曾於地区の農産物のPRにつながった。

また、クラブ員自らが商品説明や美味しい食べ方の提案、売り方を工夫するなど経営者としての資質を高める機会となった。

そして、「消費者が農産物に対して何を求め、興味を持っているか」を意識しながら交流することで、食育用パンフレット作成の参考となる情報を収集できた。



消費者との交流

(3)食育用パンフレットの作成

クラブ員が農産物販売会での情報収集や意見を募集し、「曾於地区の農産物を知ってもらい、身近に感じてもらう」をテーマに、記載内容やデザイン等を検討・作成した。



完成した食育用パンフレット

(4)子ども食堂への活動支援

食育・地産地消推進を目的に、各市町の子ども食堂の活動支援を行った。各市町のクラブ会長が中心となり、クラブ員が生産した野菜・米などを提供した。さらに、作成したパンフレットを活用し、未来を担う子どもへの食育活動に取り組んだ。

3 今後の課題、取組

今後も、本事業で作成したPR資材(パンフレット、のぼり、はっぴ等)を活用し、子ども食堂での食育や曾於地域の農畜産物のPRを行っていく。



こども食堂への食材提供